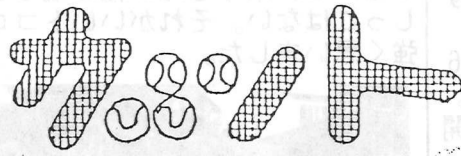


Since, 5. 1972



東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

コート取り当番クラブ

発行責任者・柳 利夫

8月 9月分のコート 諏訪B

住所・東村山市萩山町 5-6-26, 301号

9月 10月分のコート 美住A

編集責任者・黒岩俊雄

10月 11月分のコート 美住B

☎ 0423-(95)4336

第5回運営委員会報告

94.7.10.10:00~11:30・スポーツクラブ 室

柳 会長 あいさつ 対柏崎戦については、選手団以外に市民テの皆さんがたのご参加をいただき、大いに盛り上げてほしい。先月にも話の出た、恩多コート(D・E)の工事期間中の代替コートは、グリーンクラブも7月末をもって閉鎖とのことから、シチズンのコートを検討している。

テニス連盟報告 7月16・17日に行われる第18回の柏崎戦は、選手団も強力であり今年は勝利するでしょう。秋期市民大会の日程は下記の通りです。

日程	種目	記事
9月11日(日)	男子ダブルス(B)	※申込み日 8月14日(日)
9月15日(祝)	女子ダブルス(A) ——(B)	8月21日(日) ※申込み場所 スポーツセンタークラブ 室
9月18日(日)	男子ダブルス(A) 壮年ダブルス	AM 10:00~12:00 ※大会予備日 10月9日(日)
9月23日(祝)	男子シングルス B	10月23日(日)
9月25日(日)	女子シングルス A ——(B) 壮年シングルス	10月30日(日) 11月3日(祝)
10月2日(日)	男子シングルス A	

技術部報告 7月末の久米川コート1, 2, 3番コート掘り返し時のスクールは実施します

広報部報告 団体戦の試合結果については、連盟のノートの通りです。

財政部報告 決算の状況は順調です。萩山クラブの1,500円は、鶴丸さんの奥様の休部からの復帰に伴う交付金の支出です。

技術部報告 ①8月6・7日は、東京都市町村大会(ソフトテニス)の会場として市のテニスコートが使われるため、8月のコート情報の通り使えません。②7月30日(土)はソフトテニスの中学生大会が前日までに終了しないかぎり使えません。但し、終了した場合は、30日の午前9時にスポーツセンターに代金の支払いをすること。

各クラブの報告から

- 恩多クラブ● 6月22日/JSSコートで練習会 20名位の参加 合宿 8月27~29日・新潟市厚生年金スポーツセンター 合同合宿
- 諏訪クラブ○
- 美住クラブ● 8月20~22日・富士吉田市『富士テニスコッジ』にて
- 萩山クラブ○ 合宿 8月20~21日 忍野『富士の屋』にて。

○青葉クラブ● 夏合宿のお知らせ・8月27~29日
南都留群山中湖村平野1,943 『旅館かじや』
男13,000円 宿泊費・食事3回(夜朝食)
女12,000円 コートフィー・懇親会費を含む
キャッチフレーズ... 【新設丁寧過ぎる初心者教室】<一寸うまくなる中級者教室> +秋期大会に備えての実戦練習、夜(男女友好的の共歌大歓迎)

8月のコート情報

練習内容	曜日・時間	練習日
久米川コート	(土) 9:00~18:00	6, 13, 20, 27
定期練習	(日) 8:00~18:00	7, 14, 21, 28
恩多コート	(土) 6:00~9:00A	6, 13, 20, 27
早朝練習	(日) 6:00~8:00A	7, 14, 21, 28
于イター練習	(水) 7:00~9:00P	3, 10, 17, 24, 31

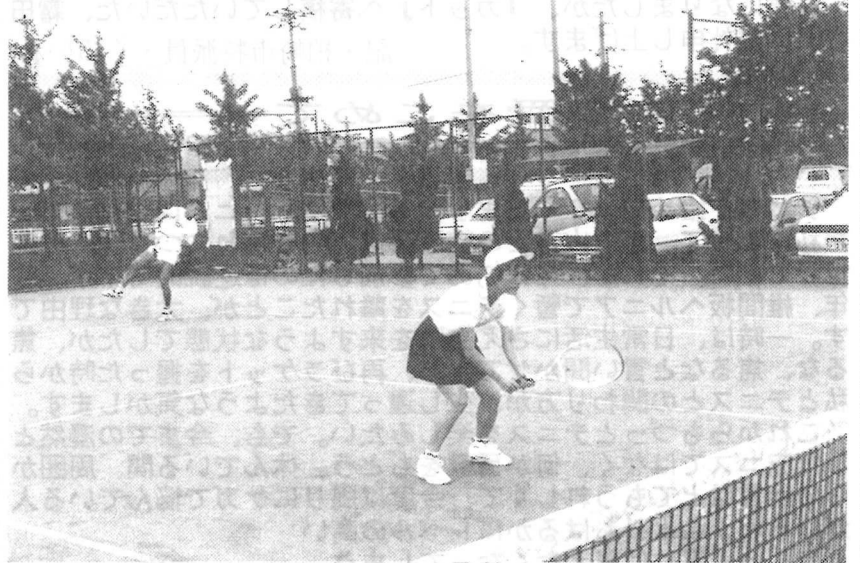
注意事項等

- ①久米川コートは、8月6日午後3時~7日一杯使用できません(ソフトテニス大会のため)
- ②恩多コートもそのため、8月7日の早朝が使えません。

第18回 太田杯争奪 対柏崎戦の結果について

1,994.7/16~7/17 2日間
by白竜テニスコート
in 柏崎

対戦スナップ

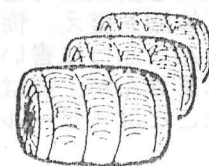


親善試合の結果・14勝5敗と圧勝し、トータルの勝敗を8勝9敗1分けとすることが出来ました。

.....対柏崎戦同行ルポ.....

7月16日(土)午前7時スポーツセンターに集合した当市の選手団は、市川副団長以下総勢28名。申し分のない天候に恵まれ必勝を期しての出立である。若手中心の選手団の中には、ナンバー1として出場予定されている福田・森田(恩多クラブ)、工藤(青葉クラブ)・田畑(諏訪クラブ)の他、壮年の山本・松井(恩多クラブ)ペアなどが余裕の表情でバスに乗る。

また、柳会長や武谷副会長の他、村上さんにも指摘されている中年の口うるさい“おっかけ”の面々も選手よりも大きな態度で乗り込んでいる。(大半が市民テの仲間である。)



白竜テニスクラブに昼過ぎに着くと、市当局の方々をはじめ、選手の方・同クラブのテニス仲間の方々によりすっかり準備の整った6面のオムニコート中央で、早速、歓迎集会とエキシビションの始まりである。

テニスショップフジによる

用具指導は、8月17日(日)

久米川コートで10時より行います。

親睦試合も圧倒して明日の公式戦に確信を持った頃、汗を流すため、宿舎である『大家』旅館に向かう。

日本海の海水泳場を見下ろす海岸沿いの高台の旅館で、夕方6時より地元の県会議員の方も交え、交流会の第1幕が始まった。

30分もすると座敷のなかに小さな輪が出来、1年振りの再開を喜び合う選手や役員の方々の顔があった。

柏崎の方々は、明日の勝率のUPを図るため、当市の若手選手団をアルコールをもって籠絡し、また、周囲の監督や柳会長などをも寝不足に導くことで、あわよくば望外の結果をせしめんものと市内のスナック等に案内した模様であるが、肝心の記者は途中でリタイヤしたため詳細を伝えられないのが誠に残念である。

7月17日(日)
海岸付近の特徴なのか、朝霧の立つ早朝ランニングで目を覚ました小生は、本日の親善試合での当市チームの勝利を祈願し、バスに乗り込んだ。

白竜テニスコートは、晴れ上がった空のもと両チームキャプテンの宣誓ののち試合開始となった。

男女のシングルス・ダブルス・ミックスで圧勝したほか、惜敗の壮年チームまで19試合中14勝5敗という成績で親善試合を終了しました。

余裕の交流試合では、相手に花を持たせる程でした。若干昨夜の攻撃をまともに受け、二日酔いぎみの人もいる中では大変素晴らしい内容であったと思います。

試合終了後、市内の県立アクアポートでゆったりと汗を流したのち、再び白竜テニスコートまで戻り表彰式を行い、柏崎の皆さんの用意していただいたサザエの壺焼きを囲んでの「さよなら」パーティーで締めくくりました。

終始一貫した柏崎市のテニス愛好家の皆さんによる、心温まる歓迎ともてなしで、始めて参加した小生はテニスの素晴らしさと仲間との連帯感で胸を熱くし、帰京するところとなりました。

最後になりましたが、『ガット』へ寄稿していただいた、霜田さんにお礼申し上げます。

記・柏崎市特派員・くろいわ

柏崎より愛をこめて

霜田文子

テニスを始めて10年あまり、主婦の余暇テニスに甘んじていた私にとって、東村山市との交流会は、内心憧れつつも全くの別世界でした。それが、今年初めて参加したのは逆説的ですが、昨年、椎間板ヘルニアで暫くテニスを離れたことが、大きな理由です。一時は、日常生活にさえ支障を来すような状態でしたが、焦るな、焦るなと言いつつ半年、再びラケットを握った時から私とテニスとの関わり方が、少し違って来たような気がします。

これからもずっとテニスを楽しみたい。でも、今までの漫然としたテニスではなく、何か目標をもとう。休んでいる間、周囲からの助言はとてもうれしくて、今度は周りにケガで悩んでいる人がいると、私よりもはるかにレベルの高い人でも他人事には思えなくなってしまった。

「そうだ、ケガで悩んでいる人の希望の星になろう☆☆」

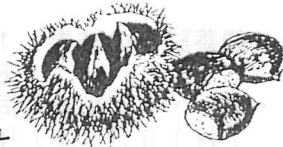
さて、そうなるには今までの私のテニス歴ではお粗末すぎます。もっともっと技術と実績を積み重ね、人の輪を広げたい。年齢的にも体力的にもハンディを持っている自分が、どこまでやれるか。— という厳しく聞こえますが実は、自分の身体と向き合いつつゲーム感覚のようにやってみたくてなんです。休むか、もう少しやれるか、これはもう、自分の身体との駆け引きです。不思議なもので、トレーナーもどきの自分が、モルモットの自分を客観的にみているのです。

自分の身体の声に耳を澄ませ、今日は我慢しようね、と言いつつ聞かせていたり...。少しでも疲れたら「休む」のも勇気。でも、思う存分やりたいと思ったら、それに合わせて体調を整え、悔いのないようにするのも自分の責任。— こんなふう書いていくと、とても禁欲的な人間に見えるかもしれませんが、実は、テニスが出来なかった半年間、一番強く感じたことは「ビールが美味しくない。」ということだったんです。

いい汗をかいておいしいビールを飲みたい。と、どんなに思っ

ことか。
私は極めつけの快樂主義者だから、2倍にも3倍にも楽しむために、すこしは我慢している、といったところでしょうか。今回の試合のためにも、途中で棄権するなんてことのないよう、体調を整えたつもりです。(つまり、前夜の懇親会のアルコールは控え目にしたつもりです。私なりに。)

さよならパーティーで、技術的にも人間的にも魅力あふれる方々と飲み交わしたビールの美味しかったこと。帰りのバスを見送



りながら、来年もあの輪の端っこでいいから(実は、輪だから端っこはない。それがいいところ)ぜひ加えていただきたい、と強く思いました。



この方が霜田さんです。

小さく生んで大きく育てよ!

副会長・武谷直也

今、先生を忍びつつ筆をとっている。20年近く影に陽に先生にお世話になった者の一人として、何かを伝えなければならないと思う。先生が私たちのテニスの活動にどのような影響を与えてこられたかに的を絞って述べることにする。

先生との出会いは、東村山市庭球連盟(当時、以下、連盟)の会長をお願いした時である。先生は、テニス界の一線からは身を引かれておられたとはいえ、私たちにとっては、まだまだ雲の上の存在であった。

小さな連盟の会長をお願いするのはどうかと、おっかなびっくりであったが、条件もつけず引き受けて下さりほっとした。

ただ一言『小さく生んで大きく育てよ』を残されて。連盟の組織強化や行事の拡大など、展望を得々と先生の前で語っていた場面での発言であった。20年の歳月の間に、春秋市民大会の種目の増加だけでなく、対柏崎戦、市内団体戦、太田杯争奪市町村大会等々と次々と行事が増えてきた。

当市体育協会発足10周年を記念して、先生の故郷・新潟県柏崎市と当市がスポーツ姉妹提携することになった。それではとテニスの親睦試合を先生に相談したところ、『それはいい、無理なく、永く、楽しく続けられるように』と、優勝杯と負けチームへの敢闘賞杯を寄贈して下さいました。毎年交流しているのはテニスだけで、今年で18年目となる。

時を同じくして、市内の団体戦を設けてはと打診したところ、『クラブテニスの育成・発展に役立つように』と、この大会に優勝杯を寄贈して下さいました。男女混合チームによる大会から、クラブの新設、発展と共に、男女別の楽しい大会として今日しっかりと根を下ろしている。この大会の開催に当たって、一度先生が立腹されたことがあった。それは、当時連盟に個人加盟が許されていたが、その者達にわかクラブを結成して、この大会に参加した時のことである。『日頃一緒に活動もせず、勝ちたいだけでチームを編成して参加するなど許されぬ』と怒られたのである。

スポーツマン精神に反するとの思いが強かったのであろう。この優勝杯の争奪戦を、当市にのみ留めることなく、出来れば全都に拡大出来ればと思っていた。先生ともその事は話し合っていたが、実現は先のことと考えていた。

ところが東京都市町村にある当市のような連盟の横の組織「東京都市町村庭球連盟連絡協議会(以下庭連協、今日ではこれが発展し、東京都市町村テニス協議会となる)が結成されたのを機に、当市での団体戦を市町村対抗戦に格上げしてはとの気運が高まった。

そのとき先生は、慎重になられた。出来たばかりの、「庭連協」の先行きや、先生と「庭連協」の結びつきの弱さなどが、恐らく先生は考えられのであろう。

しかし、先生は当市の団体戦の杯とは別に、太田杯争奪の市町村大会に新たに杯を寄贈して下さいました。と同時に「庭連協」の名誉会長も引き受けて下さった。17市で始まったこの大会も今日、30市町に拡がっている。



以上、先生と私たちのテニスの活動との関わりを述べたが、印象的なことは、事の実践に当たっては、『小さく生んで大きく育てる』と言うことである。このことは、事の歴史を築いていくことに通じると共に、それ故に多分、民主的で自主的な活動を抜きにしては達成出来ないのではないかと思う。当然のようではあるが、実行はそう簡単ではないのではなからうか。

最後に一句添えて先生のご冥福をお祈りすることとする。

“旅立ちし 御霊誰が身に また宿らん”



2-1 2 3 4 5回 (仮名) 新潟合宿報告

市民テの団塊の世代の男どもが、ひとつの会を作りました。目的は、同世代のコミュニケーションを高めるため。要はもっと気楽に、もっと風通しよく、テニスとその周辺を楽しもうというもの。

そして、早速行動開始。16名が3台の車を持って、列島縦断新潟へと向かうことにあいなった次第です。

男だけとあって、会はいって無礼講。もともとコートで汗をかいていた仲ですから。正会員は、昭和21年～25年生まれ。

それ以前は相談役、それ以降はドレイと呼ぶ体育会系のノリももちあわせていますが、運営はきわめて民主的。社会経験豊富、いわゆるアブラガのり切っている年頃ですので、幹事の一言で行動は整然。

盛り上がるべき時には、天性のノリのいい司会にあわせ、出しものあれやこれやの笑いがいっぱい、さすが「大人の集団」です。

さて、着いた新潟は、初日はあいにく台風とみまごう強風と霧雨、2日目は焼けるような晴天。でも、そんなことはお構いなしに、テニスまたテニス。そして、夜はおまぢかね、遠くはるか佐渡を見渡す(はずの)砂浜に立つ割烹旅館での宴会。

健啖かつノドごしのよい市民テの男どもが、新潟の美味しい酒と新鮮な魚に舌づつみをうちながら、深夜まで盛り上がったことは言うまでもないことです。

帰途には、寺泊にまわって、またまた豪華な刺し盛りの昼食。最後までコンセプトがしっかりした楽しい合宿でありました。
..... (萩山クラブ・鶴丸が記す)



今年の7月は、78年の猛暑以来の“熱帯夜続き”で会員の皆さんもさぞかしぐったりとしたのではないかと考えていますが、まだ、8月も9月も暑いのですぞ。

市民テの仲間の皆さん、暑さに弱い方には『早朝テニス』や「ナイター」を用意していますので、そちらで良い汗を流しストレスの解消を！

8月からは、<久米川コートも新品5面>に衣替えし皆さんをお待ちしていることとなります。各クラブごとの合宿と合わせ、今月はまさに〔テニス三昧〕の月です。秋期大会に向けみっちり練習に励みましょう。

萩山クラブ・米澤行男氏の奥様、美智子さんが病氣療養のかいなくお亡くなりになりました。慎んでご冥福をお祈りするとともに、米澤さんがお力を落とされることなく、今後共元気で活躍されますよう祈念します。(広報部・Kuroiwa)

私 と テ ニ ス

恩多クラブ・村上智彦

今年、入会しました。学生時代に始めたテニスは、社会人となってからもストレス解消のために細々と続けていました。

しかし、ここ4～5年間は、時間や機会がなく年1～2回程度のテニスとなってしまいましたので、運動不足を強く感じるとともにもっとテニスをやりたいと思っていたところ、偶然にも市民テに入会出来ました。

今では容易に思う存分楽しませて貰っています。

入会してまだ6カ月、実情はわかりませんが市民テの平均年齢は中年以上と想像しながら感じていることですが、42歳の私(十分に若い部類に入る?)よりずっと年配の方々が見て優れた運動能力や大変なスタミナ、さらには若々しさを持っていることです。

もちろん「元々の素質」と言われれば、ぐうの音も出ませんが。スポーツの中でも運動量が多いと言われるテニスを、継続して楽しみながら行っているからこそ、と再認識している次第です。ほぼ毎週1回はテニスを楽しめるようになった今も、次の日は身体中が痛くて仕方がない「若年寄り」の現在ですが、技術力(素質?)はさておきそれなりの体力、運動能力を目標に皆さんと一緒に楽しんで行きたいと思っています。

どうぞよろしく。

中年以上と思われる皆さん.....

『コートで何かお礼でも! = 新手的褒め殺しか?』

私 と テ ニ ス

恩多クラブ・富田真司



高校を卒業し、大学に入ってから「テニスのできるヤツは女にもてる」という俗説(真実?)を強く信じるようになりテニスラケットを購入しましたが、時間的な制約.....もあり、テニスクラブ等には入らずに、ときたま友人と遊びで打ち合いをする程度でした。

これではいけないと、下心丸だし勘違いテニスプレイヤーが一大決心をしたのが“昨年のこと”心を入替え、知人の紹介でこの市民テに、今年から入会する事ができ、今は日曜のテニススクールにいそいそと通っています。

私は、高校時代にバドミントンをやっていたので、ラケットは違和感なく扱えるのですが、どうもバドミントン部員時代に染み付いたプレーのクセが抜けきらず、私のテニスのウデの向上を妨げており、スクールのコーチの方々から、いつも同じ事を注意されてしまいます(コーチの皆さん“ごめんなさい”一応は努力してはいるのですが...)しかし私だって2～3年のうちには上手になってやるぞと下心を抱きつつ、また、定期練習の場でもパートナーの方に迷惑を掛けずに楽しくプレーが出来るようになるぞと現在密かに燃えております。それまでの間スクールのコーチの方々をはじめ、市民テの皆様方、どうかこのカン違いテニス初心者の相手をするハメになっても、貧乏クジを引いてしまったと諦めてご指導の程よろしくお願いします

世界中のこどもみんなに平和としあわせを

編 集 後 記

早朝の“主”の一人、ATTでは“渉外部長”の三浦さんが、長い単身赴任(岐阜県)から戻られました。

人間生活の基盤は家族ですから、いかに仕事のためとはいえ離れ離れで暮らすという異常事態がともかくも終了したことを喜びたい。柏崎市の霜田さんから、『ガット』に原稿をいただいて、姉妹都市としての交流だけでなく、異なる空の下で『共に生きる人間の輪』を広げられればと思っています。



ドジ村郡の端で

ヒガシムラヤマ郡オンタ村の空中ゲートボールの寄合に入
って早幾年。最近開眼会得した技のいくつか伝授いたそう。

一、攻撃ならぬ口撃は最大の防御とばかり、さすがに古強者、
技のみならず、性根やら、家のカミさんのことまで話題にい
たす御仁がおる。それらは人をして己を語っておるわけで、
そう思えば、ひとつ一つがうなづけるわけで、「人間皆兄弟」、
いずれも同じ穴のムジナと愛着さえ感じられる次第。

一、打ち損なうと「ボールが遅い」などと非難する御仁もお
る。その言葉にだまされて、必死に力など入れようものなら
悲惨な憂き目にあうこと必定。なにも人生急ぐばかりが能じ
ゃない。遅くていけないなどという国際規則があるでなし、
マイペースでのんびりいくこと、これぞ長生きの秘訣。

一、誉められて気持ちの悪い人は屈折しています。ですから
お互いに大いに誉めあうこと。ただし、誉められて己だけが
上達したなどと錯覚しやすい「まだ青い」御仁もいるので要
注意。勝負に勝ちたければ、周辺の些細なことをほめるべし。
「トスを上げるときの小指がきれいだね」・・・

一、仕事と余暇の区別がつかぬ方、これはご婦人に多い。遊
びを仕事にしてはいけません。されど余暇活動を生活の中心
にすえ、すべての体調を週末に最上にする。義理を欠き、
人を選び、わがままであることを恥じないS翁のごとき「絞
り込み」の生き方こそ見習うべし。

若き（相対的に見れば）前事務局長Y君がのたまった。
「老いれば、まず仕事に捨てられ、次に家族に捨てられ、そ
して、地域に捨てられる」・・・

思い当たる方は、最後の砦、地域における余暇活動を何よ
りも大切にしようではありませんか。早朝の余暇活動は特に
頭の健康によいようです・・・なんてボケつつ楽しんでいる
今日この頃です。

（前々々 忘れちゃった ATT社長 だったかな・・・）

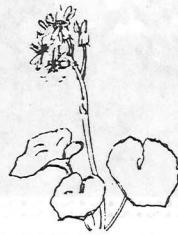
東村山vs柏崎親善対抗戦

男S	福田	4	6	1	猪俣
	小檜山	6	3	久保田	
	森田	6	2	三井田	
女S	曾木	6	0	小池	
	山本	6	2	桑原	
	工藤	7	5	宮崎	
	田畑	7	5	会田	
壮S	江原	4	6	霜田	
	松井	1	6	根立	
	山本	5	7	片桐	
男D	曾木	4	7	猪俣	
	小檜山	4	7	久保田	
女D	福田	2	1	小林	
	森田	2	1	入沢	
	山本	2	0	木我	
	工藤	2	2	桑原	
壮D	山本	3	6	宮崎	
	松井	3	6	会田	
	片桐	3	6	根立	
混D	曾木	2	2	三井田	
	山本	2	2	木我	
	森田	2	2	間島	
	工藤	2	2	桑原	
	福田	3	6	半藤	
	田畑	3	6	宮崎	
	小檜山	4	6	入沢	
	江原	4	6	霜田	

14

5

運轉 8 19



原稿の作者の真の姿
（小平郡学芸大学村住）